

# ワシントン大学短期研修について

地域創生専攻（地域計画分野）

野坂 愛薫

## 1、はじめに

入学当初から海外に行ってみたくは思っていました、なかなか行動に移すことができませんでした。3年生になり残された大学生活の中で、自分が本当にやりたいことを考えていたときに、ワシントン大学のプログラムを知りました。「これだ！」強く感じ、参加することになりました。私は国際協力専攻でなく、大学に入学してからは英語の勉強は教養科目のみでしかしていなかったため、コミュニケーションやアメリカの知識に不安がありました。しかし実際参加してみて自分の課題を知り、今後の就職活動に向けた意識や普段の生活に良い影響を及ぼすものになったのではないかと感じます。また、一緒に参加したみなさんからも沢山のことを学ぶことが出来ました。大変感謝しています。

## 2、留学中の活動

初日にリスニング、会話のテストを受け、レベル別のクラスに分けられました。私のクラスでは自分のイニシャルを使った簡単な自己紹介文を作り、それを毎日の授業で必ずやりました。私はリスニングも全く出来なかったため、最初は先生が言われることの半分ほどしか理解できませんでした。そのため授業を楽しんでいることができませんでした。しかし、先生はゆっくり、私たちが分かるまで話してくださいました。2週間経つころにはおそらく8割、9割ほど理解できるようになっていたため自分の成長を感じることができて楽しくなりました。また授業の内容ははじめ、日本でも学校で最初に習うような、かなり基本的な文法ばかりでした。コミュニケーションをもっと勉強したかったため、同じクラスの学生が先生にそのことを伝えると授業の内容も楽しくて、やりがいがあると感じるものになっていきました。

アメリカの文化を学ぶために、日本とアメリカの文化の違いやステレオタイプを表現した映画 GUNG HO（ガン・ホー）を数回に分けて見ました。そしてその映画の内容や表現されている固定観念について発言し合いました。

私のクラスの宿題は主に①新しく学んだ単語を5つ、またその単語を使った文章を5つ作る、②1日1ページの日記を書くこと、でした。普段の生活や会話の中で新たに学ぶ単語は意外と少なく、これを書くことには少し苦労しましたが、日記を書くことによって忘れていた文法の表現を思い出し、自分に起こったできごとを英語で考えるようになったため、よい課題を与えていただいたと思っています。

最後はクラスで3つのグループに分かれ、アメリカの文化をテーマとし、交通ルール、食事、ファッションについてプレゼンしました。そのために1人につき最低10人にインタ

ビューしなければなりませんでした。私は女性のファッションについて、おしゃれな人にインタビューしていましたが、ほとんどの人が動きやすい服、カジュアルな服など特にブランドやこだわりがない、と言っていたのが印象的です。プレゼン本番は準備不足と緊張であり上手く発表できなかったことが少し心残りです。

午後はアクティビティがあったので、パイクプレイスマーケットやシアトル美術館、ベインブリッジアイランドに STEP に参加している学生みんなで行きました。その他にも教育大の学生みんなで水族館に行ったり、休日はホストファミリーが動物園やボーリング、ピュアラップフェアなどいろいろな場所に連れて行ってくれたのでシアトルを大いに楽しむことができました。

### 3、留学の成果

私は実は英語に興味がなく、大学で改めて英語を勉強したいと思っていませんでした。しかし帰国してから英語や他の国の文化について興味を持ち、もっと前から勉強すればよかったと感じるようになりました。自分の興味を広げ、これから就職活動をするにあたって自分が何をしたいのか改めて考えるようになりました。STEP のプログラムには他の国からの学生も参加しており、英語を話すことができれば、もっと多くの人と会話ができます。自分の知らなかった沢山のことをホストファミリーやその他私と関わった外国人から学びました。アメリカには様々な人種、民族が生活していることを肌で感じることができました。またバスで隣に座ったおばさん、レストランの店員さんや、UW の学生もフレンドリーに話かけてくれます。日本にはないおおらかさや感情表現、人との距離感などが私にはとても魅力的に感じました。

私自身、非常に人見知りです。ホストファミリーにすら話しかけることができませんでした。でも慣れてくるにつれ、ホストファミリー以外にも話かけることが出来るようになっていきました。しかし私は最後までお店に入ったときに店員さんに聞かれる「hallo, how are you today?」がなんだか恥ずかしく、苦手でした。日本に帰ってから、偶然外国人に話かけられることがあったのですが、緊張せず、楽しんでコミュニケーションをとることが出来ました。消極的な私でしたが、これからは直接コミュニケーションをとる機会を作り、英語とコミュニケーション力を身に付けたいと考えています。

私が研究しているまちづくりにも参考になるポイントを多く見つけることができました。シアトルのバスは車いすの人や身体の不自由な人でも乗れるように自動昇降の乗り口になっていました。また、車いすの人でも自分でドアを開けられるようにドアの開閉ボタンがついています。犬を連れていてもバスに乗れることや、バスや電車で自転車を乗せることができます。シアトルの町並みや住宅の様子、バスの運行状況やホームレスへの対策、ダウンタウンの治安維持など、今後の勉強に生かしたいです。

### 4、これから行く人へのアドバイス

私は英語を全く勉強していかなかったことを後悔しました。人見知りやあまり自信がない人は、リスニングや自己紹介、あいさつなどは練習しておいた方がいいと思います。またホストファミリーに伝えたいことや、質問事項をリストアップしておいて、話しかけることは、コミュニケーションのきっかけにもなるし、3週間の短い留学生活も充実したものになると思います。ホストファミリーや先生はゆっくり話してくださいましたが、店員さんやUWの学生やバスの運転手は普通のスピードで話かけてくるので、理解できず、混乱することが多々ありました。また、自分が何をしたいのかを伝えるのが大事かと思いません。

私のホストファミリーはお父さんがフィリピン人だったのもあり、ほぼ毎日ご飯(タイ米)が炊いてあったり、よく日本人がホームステイに来るのでふりかけやお茶、海苔など日本食が多く置いてあったりして食に困ることはほとんどありませんでした。でもたまに日本食が恋しくなるので、日本から持って行った醤油のミニボトルは心の支えにもなり、大変役に立ちました。

私たちのホストファミリーの家は大学まで、電車→バスを乗り継いで1時間ほどかかりました。家から大学が遠いので、経路を調べたり、バス停を探したりにかなりの時間を費やしました。シアトルはオルカカード(suicaのような)があり、お釣りの出ないバスでは非常に便利でした。

本場で英語を勉強したい人はもちろん、少しでも海外やアメリカに興味を持っている人は、ぜひ参加したほうがいいと思います。

## 5、今後の課題

将来は1人で海外に行ったり、出会った外国人と英語で会話したりできる英語力を身につけたいです。就職活動のため、具体的に今すぐに行動を起こすことはできませんが、この意欲を持ち続けたいです。地元で就職し、働きながら市内にある米軍基地の学校に通うなどして、スキルアップを図りたいです。機会があれば、在学中にもう一度海外に行きたいと考えているため、今回学んだことを忘れずに生かしていきたいと思っています。卒業後も基地と米兵さんに関わり、地元のまちづくり活動に貢献していける社会人を目指して勉強します。

